

第1学年〇組 学級活動（1）指導案

令和2年11月 〇日（〇）第〇校時
活動場所 1年 〇組教室（在籍〇名）
指導者 教諭 〇〇 〇

1 議題 「がっきゅうぶんこをパワーアップさせよう」

2 議題について

（1）児童の実態

本学級は、明るく元気な児童が多く、様々なことに興味関心をもって取り組んでいる。新しい学習や仕事に対しても進んで取り組むことができ、豊かに経験を積み重ねている。第3回学級会で話し合った「1組秋祭りをしよう」では、話し合っただけで決めたそれぞれの役割に積極的に取り組み、学級会で決めたことを自分たちで実践することの楽しさに気づく児童の姿が見られた。また、係活動にも前向きで、教師の助言を聞きながら自分の係でどのようなことができそうか考え、実践している。しかし、まだ自分のことが中心で、自分の意見を聞いてほしいという思いが強く、最後まで人の話が聞けないところがある。また、きまりを守ろうとするあまり、他の子への注意が厳しくなったり、小さな間違いを強く指摘してしまったりする場面もみられる。

本学級では、これまでに「1組よろしくねの会をしよう」「1組お楽しみ会をしよう」「1組オリジナルのうたをつくろう」という議題で話し合いを行ってきた。児童にとって計画委員は、興味関心の対象であり、自分の番が回ってくることをどのグループも楽しみにしている。学級全体では、他の子が出した意見を大切にすると雰囲気があり、賛成意見を中心に話し合う場面が多い。また、話し合いの仕方が少しずつ分かってきており、決定に向けた意見も児童から出すことができるようになってきた。しかし、自分のしたいことが決定したら満足し、その後の話し合いに消極的になってしまったり発言意欲の高い一部の児童によって話し合いが進んでしまったりすることがある。そのため、教師自身が机間支援を行い、意見を書いている子に声かけをしながら発言を促していきたい。

（2）議題選定の理由

本議題は、学級文庫をもっと魅力的なものにし、学級の本を読んでもらいたいという本係の願いがあり、提案されたものである。これまでの本係の活動においても、本を綺麗に整理したりおすすめの本を紹介したりしてきたが、中々読んでもらえていない現状がある。他にも「1組お誕生日会をしよう」「2学期がんばったね会」などの議題も考えられたが、本好きな児童が多く、学級全体で読書の文化を育みたいという担任の思いと、読み聞かせや図書の時間で読書に対する意欲が高まっている中で、学級文庫を工夫することで、みんなで学級にある本を読む楽しさや意欲を高め、学級文庫の本をもっと読んでほしい本係の思いをみんなで考えたいという児童の思いから、本議題が選定された。またコロナ禍において、他者との関わりが制限される中で、自身のみで過ごす手段の一つである読書への意欲付けをすることで、教室内での生活を充実させたい。

3 研究主題との関わり

(1) 研究主題

自分も相手も大切にできる児童の育成

～「自分もよくみんなもよいこと」を話し合う学級活動（1）を通して～

(2) 目指す児童像

- ・話し合いを通して合意形成を図り、協力して準備・実践し、成長を実感できる子
- ・自分のよさに気づき、相手のよさを認め、伝え合える子

(3) 目指す児童像に近づくための手立て

①的確な教師の助言や支援

- ・学級会ノートに書いた意見を事前に目を通し、より提案理由に迫る意見へと深めるよう、助言をしたり、励ましのコメントを入れて自信をもって発言できるようにしたりする。
- ・計画委員とともに、挙げた意見を予め、把握しておき、円滑に学級会を進められるようにする。
- ・提案者とともに、学級全体に伝わりやすい提案理由を練り上げ、発表することで、提案理由を理解した上で学級会を進められるようにする。

②意見が対立したとき、意見をまとめるときの合意形成の図り方

- ・合意形成の例示「こんなときどうする!？」を活用し、意見をまとめるときの発言の参考とさせる。
- ・合体意見や分類を教師がお手本として示しながら、児童に、意見をまとめるための意見の出し方に気づかせるようにする。

③事後の活動まで見通した「段取る」力の育成

- ・実践活動までの期間を記したカレンダーを掲示し、準備期間についてのイメージの共有化を図る。

4 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
みんなで学級生活を楽しくするために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。話し合いの進め方に沿った意見の発表の仕方や他者の意見の聞き方を理解し、活動の方法を身につけている。	学校生活を楽しくするために、問題を発見し、解決方法について話し合いの進め方に沿って合意形成を図り、仲良く助け合って実践している。	学校生活を楽しくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えをもち、役割を意識して集団活動に取り組もうとしている。

5 事前の活動

日時 活動の場	児童の活動 ○計画委員会 ●全員の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿◎ 【観点】(評価方法)
11/11 (水) 朝の会	●議題の決定 ○役割分担、提案理由の練り上げ	・クラス全体で、クラスの課題を把握した議題になるように話し合う。 ・提案理由をよりクラスの課題と向かいたい方向に沿ったものになるように、助言する。	◎よりよい学級生活作りのために、進んで議題を考えたり選んだりしようとしている。 【主体的な態度】 (提案カード・児童の観察)
11/12 (木) 昼休み	○活動計画の作成	・話合いの様々な状況を想定できるように助言する。	◎めあてにあった内容を考えノートに書くことができる。 【思考・判断・表現】 (学級会ノート)
11/13 (金) 5時間目	●学級会ノートに自分の意見を記入する。	・めあてや決まっていることを全体で把握した上で記入できるように助言する。	
11/16 (月) 朝の時間	●教師のコメントの入った学級会ノートを受け取る	・学級会で自信をもって発表できるように、励ましの言葉を入れる。	

6 展開

(1) 本時のねらい

学級会を通して、みんなががっきゅうぶんこの本を読みたくなるような「がっきゅうぶんこをパワーアップさせよう」の内容を決めることができる。

(2) 児童の活動計画

だい五かい がっきゅうかいかつどうけいかく 11がつ18にち (水)

はなすこと	がっきゅうぶんこをパワーアップさせよう		
だしたひと	ほんがかり		
だしたわけ	いま、一くみにはがっきゅうぶんこがありますが、まだよまれていないほんがたくさんあります。だから、がっきゅうぶんこをパワーアップさせようをていあんします。そうすれば、がっきゅうぶんこにあるほんをもっとよんでくれるとおもったからです。		
めあて	みんながもっとがっきゅうぶんこのほんをよみたくなるような、パワーアップのしかたをかんがえよう。		
やくわり	しかい	こくばんきろく	ノートきろく
きまっていること	・じゅんびのじかんは一じかんとる。 ・11がつ26にちにパワーアップさせる。		

はなしあいのじゅんばん	きをつけること	じかん など
①はじめのことば		5
②けいかくいんのしょうかい	おおきいこえではっきりとがんばりたいことをいう。	
③ぎだいのかくにん		
④ていあんりゆう	ほんがかりのひとが、ていあんをする。	2 5
⑤きまっていることのかくにん	いろいろなひとをしめいする。	
⑥はなしあい <きめること①> パワーアップさせるためのくふう	はっぴょうがおわったら、ありがとうございますという。 けっていできそうないけんがあつたら、ぜんいんにけっていしていいかきく。	1 0
<きめること②> やくわり		5
⑦きまったことのかくにん	ふりかえりのじかんは一ふんかんとる。	
⑧ふりかえり		
⑨せんせいのはなし		
⑩おわりのことば		

(3) 教師の指導計画

活動の計画	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
1 はじめの言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかり大きな声で始められるように事前に励ましを入れる。 	
2 計画委員の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の役割に対してがんばりたいことがはっきり言えるように事前に指導する。 	
3 議題の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が把握できるように大きな声で言えるように事前に指導する。 	
4 提案理由の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・提案理由が分かりやすいように三段階に分けた掲示を利用し、共通理解を図る。 ・提案理由が学級全体に聞こえる声で発表できるように、本係に事前に指導する。 	
5 決まっていることの確認	<ul style="list-style-type: none"> ・準備の時間を一時間とること、パワーアップは26日にすること、工夫は3つくらい決めることを確認する。 	
6 めあての確認		
7 話し合い 話し合うこと① 「パワーアップさせるためのくふう」 話し合うこと② 「やくわり」	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いは「出し合う」から始めるため、あらかじめ児童の出される意見を学級会ノートから把握しておく。 ・出された意見に対する質問の時間では、出された意見に対するイメージの共有をはかる。 ・賛成意見を中心に話し合いを進められるように助言する。 ・意見には必ず理由も一緒に述べさせ、意見を発表した児童には司会から「ありがとうございます」を言うように助言する。 ・賛成意見がある程度絞られて 	◎提案理由をふまえて、学級文庫をパワーアップさせようの目的にあった工夫、役割について考え、発言している。 【思考・判断・表現】 (観察、学級会ノート) ◎話し合いの進め方や約束を理解している。 【知識・技能】 (観察、活動計画ノート)

<p>8 決まったことの確認 9 振り返り 10 先生の話</p> <p>11 終わりの言葉</p>	<p>きた時には、話し合いを焦点化できるように司会や全体に助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案理由やめあてから逸れそうになった場合は、もう一度立ち返れるように助言する。 ・提案理由やめあてに沿った発言ができたり、まとめる意見を出したりした児童を称賛する。 <ul style="list-style-type: none"> ・司会グループへのねぎらいを具体的に称賛する。 ・次回の学級会への課題と、実践に対する意欲づけができる声かけを行う。 	
--	---	--

7 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
11/19 (木) 朝の会	<ul style="list-style-type: none"> ・係の役割分担を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が役割を把握することができるようにする。 	◎学級文庫パワーアップの準備や実践に進んで取り組もうとしている。
11月24日(火) 5時間目	<ul style="list-style-type: none"> ・役割毎に学級文庫のパワーアップに向けて準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に向かって友達と協力して準備に取り組んでいる児童を積極的に称賛し、全体で取り組む意識を高める。 	【主体的な態度】 (観察)
11月26日(木) 5時間目	<ul style="list-style-type: none"> ・学級文庫をパワーアップさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで活動に参加できたかななどを自己評価できるようにする。 	◎活動の目的を理解し、友だちと協力して、責任をもって準備をしたり参加したりしている。
11月26日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・活動終了後の感想記入やふりかえりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで活動に参加できたかななどを自己評価できるようにする。 	【思考・判断・表現】 (観察)